



進んで学び、互いが育つかかわりのできる 南郷っ子の育成

南郷の風

南会津町立南郷小学校だより
令和7年10月6日発行
令和7年度 第18号
発行者：校長 橋内 伸行

躍動!!小体連陸上大会!!

先週2日（木）、秋晴れの空の下、小体連陸上大会が開催されました。本校の5・6年生16名が参加し、各競技において力一杯、練習の成果を発揮してくれました。

緊張感をはねのけ、目標としていた自己ベストの更新や入賞を果たした子も多く、その真剣な眼差しは、まさに日々の地道な努力の賜物でした。

何よりも大切なのは、目標に向かって努力を重ねた過程です。今回、子どもたち一人一人が経験を、今後の学校生活に活かしてくれることを期待しています。



実りの秋を迎えて

厳しかった残暑も峠を越え、秋の訪れが感じられるようになりました。前号でもお伝えしましたが、朝夕は肌寒さを感じるようになつたことから、子どもたちも保護者の皆様も、体調管理には十分、留意されてください。

学校では、各学年ともにさまざまな「体験活動の秋」「感動体験の秋」を迎えていきます。校外での学習活動だけでなく、さまざまな学習を通して、新しい発見をする喜び、友だちと協力することの楽しさ、目標に向かってチャレンジすることの大切さなどを子どもたち一人一人に味わわせることができればと思います。



南会津郡小中学校音楽祭へ向けて（3・4年）



森林環境学習での木工クラフト（4年）
※ 福島県の森林環境税を活用して実施



スーパーマーケットへの見学学習（3年）

熊による被害防止へ向けて

先週30日（火）、県主催による「ツキノワグマの被害防止に係る緊急連絡会議」に参加し、熊による被害防止対策や今後の対応案についてお話を伺いました。

熊が人に対する警戒心が薄れつつある一方、私たち自身も「この地域には熊はいるものだ…」という「慣れ」に気をつけなければいけないことを改めて考えさせられました。

「熊の人馴れ、人の熊慣れ」がリスクを大きくさせる

- ① 特に日の出前、日没後の徒歩による外出は避ける
- ② 通学路、散歩コースの安全の再確認を
- ③ 河川敷には昼夜を問わず近づかない（熊の移動ルートや潜み場所）
- ④ 住宅や敷地内で物音がしても、不用意に外に出たり、窓を開けて確認したりしない
- ⑤ 畑や果樹園の見回りの際は車両を使用する
- ⑥ 戸締まりに細心の注意を（今秋の熊はとにかく空腹）
- ⑦ 今秋のキノコ狩りはリスクが非常に高いことを覚悟の上で
- ⑧ 登山やキャンプなどの野外活動、山間部や緑地の散策もリスクが高い

「ツキノワグマの被害防止に係る緊急連絡会議」(2025/09/30) より抜粋

本校においては、今後も引き続き、子どもたちの安全確保へ向けて関係機関と連携して努めてまいりますが、保護者の皆様におかれましては、熊を目撃された際は、警察や南郷支所等への報告による情報共有にご協力ををお願いいたします。